

ゆうすい NEWS No.37

平成 23 年 2011.1.27 発行



題字:大岡 信氏(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3

Fax 055-971-4243 E-mail river●yusui.org URL http://www.yusui.org/ ※事務局員は常駐しません。

E-mail や Fax で、ご連絡いただけると助かります。

水の視察研修 「甲斐路の水探訪」2010年11月22日(月)~23日(火・祝)





大滝湧水 「環境庁・山梨県」の 名前が入った説明板▼

大滝湧水は、標高 820 m の所に湧出し 日量22,000 t 、水温は一年をとおして12 でです。

この湧水は、古くから近在の生活用水として、住民の生活を支えてきました。 水田の濯漑用水、ニジマスなどの養殖に 利用され、地域社会への貢献は図りしれないものがあります。

視察参加者(当日配布の名簿順) 塚田冷子、小松幸子、秋山峰治、岩田重理、 大村洋子、佐伯忠夫、柴原俊介、中西康徳、 水野幾子、大村皖伸、斎藤彩子、西川勝美、 平林紘治、山岡修一、山岡節子、内村良二、 古田モータース・ドライバー



八ヶ岳南麓高原湧水群の「三分一湧水」



笛吹川や差出堰付近の豊富な水量



日本三奇橋・猿橋からの紅葉の眺めと、猿橋の橋げた







国の重要文化財である 下花咲本陣跡「星野家住宅」の広い屋内を、星野家 当主の丁寧な案内説明で、 堪能。最後の部屋で当主が 障子を開けると、庭に紅葉 真っ盛りの風景が広がり、 皆、感嘆の声。明治天皇も 訪れたという、歴史的な文 化財を守る姿勢にも感動。

新春に七草粥とわらべ唄を楽しんで

平成23 (2011) 年、無病息災を願い七草粥を食べ、わらべ唄を楽しむ集いが、1月7日、塚田冷子会長宅の庭で行われました。



毎年提供される内藤さん(三ツ谷新田)からの七草

前日に、三島ゆうすい会のメンバーが三ツ谷 新田の内藤輝夫・理恵子夫妻から七草をいただ き、泉町婦人部の人たちも加わって心をこめて 準備しました。

昔からの風習で三島にちなんだ唄を次の世代つなげていこうということで、三島ゆうすい会とふるさとの唄を楽しむ会が主催して行われています。当日は朝早くから遊水匠の会



のメンバーも手伝ってくれました。

今年は天気もよく、風もない日でした。友人、親子連れなど 200 人近い人が集まりました。近所からだけではなく、遠く県外か

鍋をストーブにのせて、あつあつの七草をふるまう

らもこの行事に参加するために訪れた人もいました。ふるまわれた七草粥の熱さとおいしさに、冷えた休も温まったようでした。「お粥は、あまり好きではないかと思っていたのに、子どもがおいしいよと言って、残さず食べたのを見



てびっくりしまた」 と、近所から参加し たというおかあさん。 「新春の香りがす る」と言っておいし そうに食べる人の中 には、おかわりをさ

れるほど今年も大好評のお粥でした。そしてゲストのコールロベリアの皆さんの清々しい歌声に引き込まれ、ジャンケン遊び唄や数え歌、三島ゆ



うすい会のテーマ曲でもある 「水よ輝け」などを、参加者も 一緒に歌いました。笑顔があふ れる和やかなひとときでした。

会場へ案内をする中西康徳理事(左)、柴原俊介理事



左から小浜修一郎理事、佐伯忠夫理事、志村肇顧問、 豊岡武士三島市長、大庭治美さん、塚田冷子会長、水野幾子理事、 小松幸子副会長、秋山峰治事務局長

「北伊豆地震と三島の復興写真集」への新たな思い

昭和 5(1930)年 11 月 26 日午前 4 時 3 分、北伊豆一帯に 地震が起きました。これが北伊豆地震で、地震の大き さを現在の数字で表すとマグニチュード 7.0 震度 6 の 大地震です。

「大根(でゃあこ)が、空にすっとんだ」。当時の人が見た情景です。体験した人たちも高齢になり、次世代に語り繋ぐ人も少なくなりました。



三島ゆうすい会では、75 年経った 平成 17 年から着手し、「北伊豆地震 と三島の復興写真集」を平成 18 年 11 月 26 日に出版しました。

北伊豆地震から 80 年目になる平成 22(2010)年11月には、写真集について 朝日新聞社から取材がありました。

西小で道徳を考える授業のゲストティーチャーに

三島市立西小学校は平成 21、22 年度の 2 年間、文部 科学省と三島市教育委員会から道徳教育実践研究事業 の指定を受け実践研究を進めています。

平成 22(2010)年 11 月 19 日、3 年生のゲストティーチャーとして塚田冷子会長が三島市立西小に招かれました。

三島ゆうすい会とのかかわりや、どんなことをしているのか?の質問には「1番小さなことだけれど毎日川の掃除を始めて35年経つ」ということを話しました。「なぜしているのか?」と聞かれ、「私がみなさんと同じ年頃にきれいな三島の水で楽しんだり、泳いだりした思い出があるからです」と言うと、児童たちは自分たちが今楽しんでいることを教えてくれ、教室中楽しくなりました。「僕たち、私たちも大きくなったら同じことをしたい」と言ってくれました。

水よ輝け絵画展









宮さんの川に、「今年は楽しみにしていたカモの赤ちゃんが生まれませんでした。かわりに、アステールのお友達が絵を画いてくれました。三島ゆうすい会、宮さんの川を守る会、遊水匠の会」という筆字の看板があります。絵には、子供たちの優しい気持ちが込められており、心が和みます。

緒明實三島ゆうすい会名誉会長より 20周年に向けて励ましを受け!





平成22年9月27日(月)、塚田冷子会長、小松幸子副会長、 大村洋子理事の3人で、緒明實三島ゆうすい会名誉会長宅を訪れ、『三島ゆうすい会10周年記念誌』をひもときながら歓談。

「三島市民は、本当によくやるよね。もう20年になるの!これからも、存分に活動を続けてくださいよ。また、いつでも来て!」と、緒明實名誉会長から温かな笑顔で励まされました。一同、「20周年事業を成功させたい」という強い思いで帰路につきました。林の中の緒明邸は、野鳥の声が心地よく響いていました。









インドへ帰国する若者が塚田邸に!

三島市内の企業に出張で数カ月来ていたインドの若者が、帰国前の1月10日(月・祝)に市内を散策し、塚田邸の井戸も見学。インドのITを褒められた青年は「日本人の技術力こそ、凄いですよ」と、にっこり。水辺の散策が、国際交流



の場にもなりました。次は日本語を学び、奥さんと子供さんと一緒に、再来日したいとのことでした。

「どうする!?どうなる!?楽寿園」討論会

主催:社団法人三島青年会議所(JC)

平成22年7月22日(木)19:00~20:55に、三島市立公園楽寿園三島駅前口で、三島JC主催の討論会が開催されました。三島ゆうすい会から、小松幸子副会長がパネリストの1人として参加し、自然が豊富で歴史的にも文化的にも重要な楽寿園の魅力や、まちづくりへの可能性が大きいことを力説しました。



コーディネーターは、 佐藤三武朗日本大学国際関係学部長が務めました。パネリストは、大村敏之三島JC理事長ほか6人が務めました。



玲子・スミザースさん (三島市の元せせらぎ大使) 来訪



左より、桜さん、玲子さん、イ アンさん (源兵衛川にて)



塚田冷子会長にも会い、三 島の水辺を守るための市民の 日々の努力などについても語 り合いました。「いつか高校生 に、三島で川掃除を体験させ たい」と語る玲子さんでした。 ニュージーランドの姉妹都市・ニュージーランドの姉妹都市・ニュの時味を主要を表している。高校生たちを引いる。高校生たちを続いている。一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次には、20年12月28日に、20年以

第20回三島ゆうすい会総会のお知らせ

第20回を迎える「三島ゆうすい会総会」へご参加ください。なお、講演 会、懇親会は会員以外の方も大歓迎です。お誘いあってお出かけください。

2011年3月13日(日) 日時

総 会16:00~16:50 (参加は会員のみ)

講演会 17:00~18:00

演題 「三島宿と用水」

講師 関 守敏 さん (郷土史研究家)

懇親会 18:15~20:00 (懇親会 3,000円)

会場 Via701 (1F ホール) 三島広小路駅から徒歩 2分





昨年の総会風景



講演会(左)と懇親会のようす

◆問い合わせ先 電話 (塚田宅) \bigcirc

兀

郵便番号 兀

三島市泉町五番

一島ゆうすい会

分田冷

▼締め切り 平成二十三年四月三十

住所 応募は官製 人一句 -高生は学校名、学年を記入してください 氏 名 はがきに縦書 電話番号

募集内容

「三島の水」

対する思

募してください 水に対する思いを 防 い会の 一十周 年記念誌作成 私 句

鳥 ゆうす 集 の お 会二十 知 5 世 周 年 記 俳 句

定例の清掃予定

- ★いずれの定例活動も自由参加です。 ふるってご参加ください! 雨天時は 原則として休みです。
- ●宮さんの川清掃 原則として毎朝6:30~ 宮さんの川集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参 「宮さんの川を守る会」とともに
- ●源兵衛川のいづみ橋から広瀬橋まで のゴミ拾いなど 原則毎週土曜日、日曜日の朝6:30~ 源兵衛川いずみ橋 集合 長靴、軍手またはビニール手袋、ゴ ミを入れる袋等持参 「三島ゆうすい会」有志とともに

●源兵衛川清掃 原則每週第2日曜日13:00~ 水の苑緑地・かわせみ橋 集合、 長靴、軍手またはビニール手袋持参 「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則毎月第1土曜日10:00~ 白滝公園 集合 長靴、軍手またはビニール手袋持参 「桜川を愛する会」とともに

三島梅花藻の里保全活動 原則毎月第2日曜日10:00~ 三島梅花藻の里 集合 長靴、軍手またはビニール手袋、 草取り道具等持参

ご入金・入会・会費

☆皆様のご支援ご協力に心より感 謝申し上げます。(氏名順不同)

- ●ご寄付 高橋佳代子さん 伊藤玉惠さん
- ●新入会員 内村良二さん 斎藤彩子さん 西川勝美さん



●会費ご入金

本年度会費(平成23年度分)の納 入にご協力賜りますよう、よろしくお 願い申し上げます。 (詳しくは同封 の案内をご覧ください)

- ★未納の方は、いずれかの口座へご入 金くださいますよう、よろしくお願 い申し上げます。
 - 正会費 3,000円
 - ・賛助会費 1口10,000円 〈お振込み先〉
 - · 郵便振替 0840-4-118192 加入者名:三島ゆうすい会
 - · 静岡銀行三島支店 普通預金 No.0346532
 - ・スルガ銀行三島セントラル店 普通預金 No.572969
 - 三島信用金庫西支店 普通預金 No.1042399 口座名:三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

